

2014年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	情報学科						
科目名	ヒューマンインターフェース						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年次後期		
必修・選択の別	選択必修科目(ネットワークコース) 必修科目(ソフトウェアコース)						
担当者	大箸 純也						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターフェース設計における社会的要望・責任を知る</li> <li>・人と機械、人と環境との関係とが相互に関係していることを知る</li> <li>・感覚器の特徴や認知機能について知る</li> <li>・安全に関わる要素を知り、その対応方法を知る</li> <li>・ユーザ分析やユーザビリティ評価の具体的な実施方法を知る</li> </ul>						
日程と内容	<p>9月18日 授業予定、評価法、注意事項、願うこと、身近な例 9月25日 メンタルモデル 10月02日 アフォーダンス、フィードバック、ポピュレーションステレオタイプ、ヒューマンインターフェースの 社会的責任、ノーマライゼーション、旧分類 10月09日 社会的責任：障害への対応、法律、webデザイン、視覚特性：目の構造 10月16日 視機能：視野、基礎的事項、照明、作業と明るさ（グレアの前まで） 10月23日 視機能：グレア、高齢者、色覚異常。聴覚：構成、音の単位 10月30日 聴覚特性：難聴、老化の影響と対応、報知音の周波数。演習試験（前半） 11月06日 報知音のパターン、手話の必要性、認知科学：認知、記憶 11月13日 認知科学：スキーマ、スクリプト、ヒューリスティック 11月20日 安全：スリップとミスティク、注意、フルプルーフとフェイルセーフ、安全装置のフェイルセーフ 11月27日 安全：チャイルドプルーフ、PL法、ハインリッヒの法則、触覚、キーボードの大きさの決定 12月04日 キーボードの配列、形状。パーセントイル。ポインティングデバイスの制御・比較 12月11日 制御（Fittsの法則、方向、CD比）。設計：仕様の設定、問題調査法、設計の共通方法、システム</p> <p>として要求される項目、やる気の醸成</p>						
成績評価基準	定期試験	65%	実技	0%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	35%	計	100%			
授業到達目標の達成度	最後の「設計」での評価は、簡単に項目を挙げる程度で終わることになりましたが、その他は達成できたと考えています。						
反省点	特に大きな問題も無く終わることができたと思います。ありがとうございました。						
来年度の計画	トピック的なことがあれば入れますが、大きな違いは無いと考えます。						
授業評価アンケートに対するコメント	ヒューマンインターフェースなのに分かり難かったというのがありました。まさにすみません。ヒューマンインターフェースは難しいですね。授業でなくても、ソフトにおいてもです。使いやすいように作成したつもりですが、他者には分かり難いようです。文字を大きくすることは容易にできます。でも、分かりやすいようにするのは、理論・要素だけでは解決できず、ヒューマンインターフェースを知っていても難しいのです。大事な要素として「楽しさ」があります。これも大事だと分かっていますが、実装できません。ヒューマンインターフェースを学んでも、向上できる範囲は限られるのです。皆さんは、度量を大きくして、素晴らしいものを提供して下さい。						
履修登録者数	79名	定期試験 受験者数	69名	合格者数	60名	合格率	87%